

HURRI COUNT

プレイ人数：2～5人
年齢：6歳以上、8歳以上
時間：10～15分

ゲームのルール ハリカウント

ハリカウントをやると、たし算や数字の比較が簡単に出来るようになるよ！

ゲームの目的

急いで「カウントマスター」になって、面白い動物をたくさん集めてください！

勝者

動物のカードを1番多く集めた人が勝ちます。

タスクカードの一部だけを使えば、ゲームの時間を短くすることが出来ます。

基本バージョン (8歳以上)

用意

2つのカードを山を作ります。1つは動物カードの山で、もう1つはタスクカードの山です。それぞれのカードをよく切って、動物カードをプレイヤーに同じ数ずつ配ります。プレイヤーは自分のカードを裏返し山の山にして置きます。タスクカードから1枚を開いて、真ん中に置きます。

遊び方

一番若いプレイヤーから始めます。

自分の番が来たら、自分の山の1番上の動物カードを開きます。開いた動物カードがタスクカードの条件を満たしているかを判断し、満たしていたら急いで「ガッチャ！」と言います。

開かれたすべてのカードを使うことが出来ます。例えば、2人でプレイしている場合は、1人目が「2匹のハリネズミ」のカードを開いて、2人目が「4匹のハリネズミ」のカードを開けば、6匹のハリネズミという意味になります。

最初に「ガッチャ！」と言った人がその回の勝者となり、開いている動物カードをすべて手に入れて自分の山の一番下に入れることが出来ます。もし条件を満たしていなかったのに「ガッチャ！」と間違えて言ってしまった場合、ペナルティ(罰)として、他のプレイヤーに1枚ずつ自分の動物カードをあげなければなりません。4人以上でプレイしている場合は、左右にいるプレイヤーにだけあげます。

誰かがカードを手に入れたら、新しいタスクカードを開きます。

タスクカードは1回しか使いません。

自分の動物カードがなくなった時は、ゲームオーバーです。

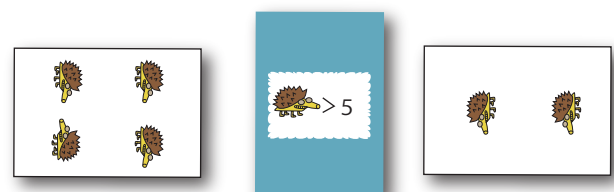
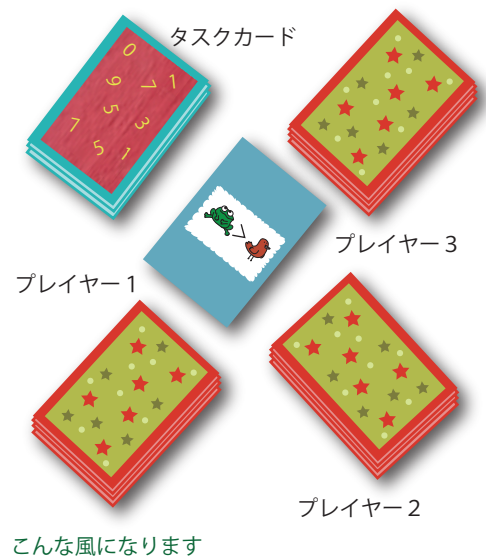
ゲームは次のような場合に終わります。

- 動物カードを持っている人が1人だけになった場合
- タスクカードがすべて使われた場合



内容：

- ☆ 54枚の動物カード
- ☆ 26枚のタスクカード
- ☆ ルール説明書



タスクカードの種類

3種類のタスクカードがあります。

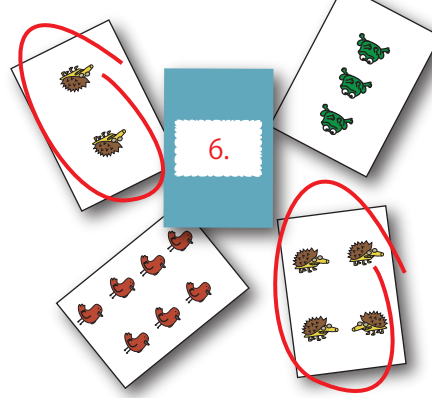
1、ちょうどの量

ある動物の数がタスクカードの数になった時に条件を満たします。

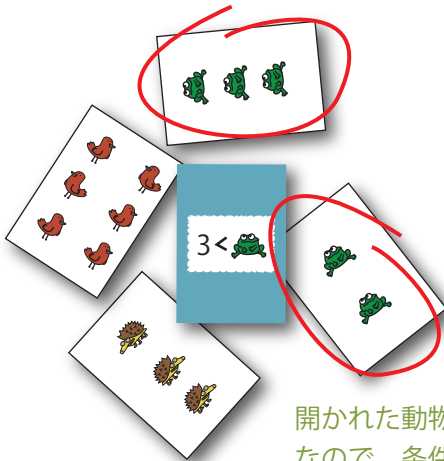
2、数の式

このタスクカードは、一つの動物にだけ適用されます。すべての動物カードにタスクカードの動物がいなかった場合、タスクカードの動物は0ということになります。

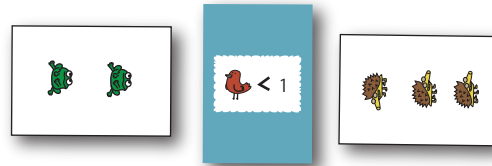
こんな風になります



開かれた動物カードが2匹と4匹のハリネズミなので、合計は6です。つまり、条件を満たします。



開かれた動物カードが合計5 (3 + 2) なので、条件を満たします。

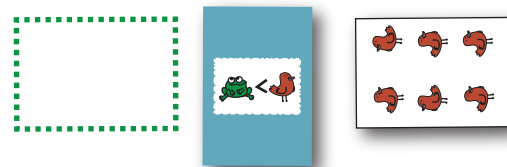
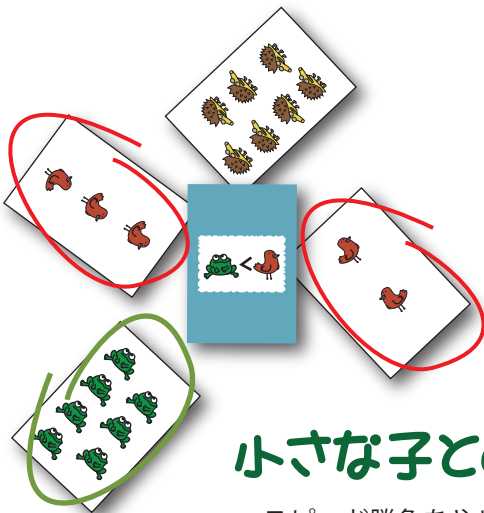


例えば、図のようにカエルとハリネズミが出ている場合、「1以下の鳥」つまり「鳥がない」というタスクカードの条件を満たします。この条件は、最初の動物カードが開かれた時でも有効です。

3、動物の式

ある1種類の動物の合計を他の動物と比べなければなりません。

こんな風になります



開かれた動物カードの合計が5羽 (3羽 + 2羽) の鳥と7匹のカエルです。つまり、条件を満たします。

最初の方が6羽の鳥の動物カードを開き、カエルはいません。カエルは0を意味します。つまり、条件を満たします。

小さな子との遊び方 (6歳以上)

スピード勝負をやめて、カードをじっくり分析することが出来ます。つまり、動物カードを開いた本人だけが「ガッチャ！」というようにします。条件を満たしていないと思った時は、カードをそのままし、次の人の番になります

難易度を表すドットが1つ、2つまたは3つのカードだけを使うことも出来ます。最初はドットが1つのカードだけを使い、徐々にドット2つ、3つと増やしていくことをオススメします。